

ピタコンクM

道東支店 別海営業所 宮本雄介 渡部牧場

ユーザー紹介

渡部牧場は標津町にある牧場で、経産牛約110頭を飼養しています。牛の状態も非常に良く、個体乳量は1万kgを超えています。

渡部牧場には、ピタコンクMを発売直後に紹介しました。従来の給与メニューとピタコンクM使用時のコスト比較をしたところ、コストメリットもあったことからすぐに切り替えて欲しいとの要望を頂きました。

以来使用を継続して頂いておりますが、飼料タンクからミキサーにスイッチひとつでビタミン、ミネラル等が充足されるピタコンクが投入されるので省力化にも繋がっています。乳量も徐々に増え、出荷乳量は昨年を上回っています。

また、ピタコンクは配合飼料である事から安定基金の補填対象となっておりますので、値上げ時にも安心して継続使用が出来る事も合わせて満足頂いております。

今後も引き続きご愛用頂けますよう宜しくお願い致します。

ユーザー紹介

ワンタイム

道央支店 旭川営業所 宮地徳正

藤川牧場



今回、旭川営業所からご紹介いたしますワンタイムユーザーは、深川市にある藤川牧場です。

こちらでは、平成25年1月よりワンタイムをご愛用いただいております。そのきっかけは繁殖成績の低下で、これを顕著に現していたのがJMR値の上昇でした。以前はJMR値10前後でしたが、平成24年の初め頃から上昇し始め同年7月には29.1（最高値）となり、この改善が急務でした。

それまでは、ワンタイムにも配合されている、カビ毒吸着剤やペプチドミネラル（銅、亜鉛、マンガン）、カルシウム、ビタミンA、ビタミンD₃、ビタミンEを別途給与していましたが、ワンタイムを先に使用していた別の酪農家さんで繁殖成績が改善されたとの報告をしたところ、省力化もできることから、試験的に使用してみると

いうことになりました。

その後平成25年11月にはJMR値は17.3となりました。

以下は藤川さんのコメントです。「ワンタイムを給与してから、初回発情が発見しやすくなり、約2週間で来ている。これに伴いその後の発情の見逃しも減った。その上、紙袋製品（カルシウム材やビタミン剤等）の在庫管理の必要もなくなり、手間も減って助かっている。」

これをご覧になっている、同じような悩みを持つ酪農家さん是非お試しください。

※JMRとは、現在の繁殖成績を総合的に評価できるよう1987年にカナダの獣医師により開発された概念。

受胎に要した日数から、分娩後に意図的に授精を行わない期間（日数）を減算したものの牛群平均値



「発情も確認できました！」

 雪印種苗株式会社

編集発行人
岡村 一範

本社004-8531
札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
TEL (011)891-5911
FAX (011)891-5774